

2016年10月28日

横浜ゴム、中国のタイヤ生産販売子会社が 第五期「千年の杜」植樹祭を開催

横浜ゴム（株）の中国のタイヤ生産販売子会社である蘇州優科豪馬輪胎^{※1}有限公司は、10月22日に江蘇省蘇州市高新区にある同社敷地内で「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトの第五期植樹祭を開催した。当日は同社の福谷修一総経理、従業員とその家族のほか、中国の事業統括会社である優科豪馬橡膠^{※2}有限公司の近藤成俊董事長、蘇州市浒墅関中心小学の児童と家族、蘇州市高新区の環境保護局および環境保護協會の関係者など合計208名が参加。420㎡の敷地に土地本来の常緑広葉樹などの苗木15種、3,157本を植樹した。

※1：優科豪馬輪胎＝中国語読みでヨコハマタイヤ ※2：優科豪馬橡膠＝中国語読みでヨコハマゴム

蘇州優科豪馬輪胎は、優科豪馬橡膠の全額出資でトラック・バス用タイヤ専門の生産販売子会社として2006年4月に設立、2014年4月からは乗用車用タイヤの生産も行っている。今回の植樹により横浜ゴムの中国での累計植樹本数が約4万9千本になったほか、横浜ゴムグループ全体の累計植樹本数は約44万本となった。

横浜ゴムは、創業100周年にあたる2017年までに国内外の生産・販売関連拠点で50万本を植樹する「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトに2007年から取り組んでいる。同プロジェクトでは、植物生態学者の宮脇昭横浜国立大学名誉教授による指導のもと、苗作りから植樹、その後の杜の育成まで従業員が自ら行っている。



植樹する上井清優科豪馬橡膠有限公司副總經理と
近藤成俊同社董事長、福谷修一蘇州優科豪馬輪胎
有限公司總經理（左から）



参加者との記念撮影

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：中沢
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570